

WRO 2014 Japan 決勝大会

参加規約

(カレッジカテゴリーはのぞく)

2014年 1.0版

WRO は、教育的なロボット競技への挑戦を通じて、世界中の若者・子どもたちの参加を募り、彼らの創造性と問題解決力を育成することを目的として活動しています。日本においてはさらに、明るい未来社会づくりを目的とした将来の科学者・技術者づくりとして、青少年の科学技術への興味拡大、世界で活躍する人材育成、および科学技術教育における指導者支援、育成の活動を行っています。

WRO Japanはスポンサーおよび協力各団体からのご提供資金ならびにご支援、および実行委員や協力関係者の献身的なボランティア・ベースの活動により開催・運営されています。いずれかが欠けても開催・運営することは困難です。ご協力いただいている皆様に心から感謝いたします。また、参加者は同じテーマに挑戦する仲間であるともいえ、運営するみなさん、協力していただくみなさんとともに WRO をつくりあげていく仲間でもあります。参加にあたっては、相互理解の上でお互いに敬意を持って活動してください。

2014年 6月

WRO Japan 実行委員会

この参加規約は、カレッジカテゴリーをのぞく、WRO Japan 決勝大会(以降、Japan 決勝大会)と WRO 国際大会 (以降、国際大会) への参加にあたって適用されます。

この参加規約は、WRO Japan 公認予選会 (以降、予選会) の参加にあっても適用されます。予選会についてこの参加規約に規定されていない事項は、それぞれの予選会により規定されます、またこの参加規約に規定されている事項でも予選会個別の規約が設定されることがあります。

1. 参加対象

以下の活動からの参加を対象とします。

- ・ 学校からの参加
- ・ 大学・専門学校等による小中高校生の支援活動や、NPO・企業・団体におけるCSR活動、およびボランティア・ベースの支援活動からの参加
- ・ 公共団体や科学館等の公共施設による小中高校生支援活動からの参加

例えば、「当教室からWRO入賞者が出ました」、「当教室からWROにチャレンジしよう!」、といった宣伝による生徒募集活動など、私塾や営利のロボット教室等を含む企業、団体、個人にてWRO参加を営利目的に利用することはおやめください。

ただし、私塾や営利のロボット教室の運営者、そこに通う児童生徒がWROに参加することを妨げるものではありません。

2. 競技の内容

レギュラーカテゴリ（エキスパート競技、ベーシック競技）、オープンカテゴリの3つの競技があります。

※2013年新設 レギュラーカテゴリ・ベーシック競技について

初学者が参加しやすくすることを目的として、レギュラーカテゴリ・ベーシック競技を開催いたします。

- (1) Japan決勝大会では、上記3つの競技を実施します。
- (2) 予選会では、上記3つのうち1つ以上の競技を実施します。
- (3) 参加に必要な機材、費用は、参加チームにて準備してください。

3. 参加資格

(1) チーム

A. 選手の年齢と所属

小学生部門： 2002.4.2 以降に生まれた者

中学生部門： 1999.4.2 以降 2002.4.1 までに生まれた者

高校生部門： 1996.4.2 以降 1999.4.1 までに生まれた者

選手は日本国内の小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校のいずれかに在籍していること。高等専門学校の場合、第3学年までとします。

これら以外の学校に在籍する方が参加希望の場合は、事前に WRO Japan 実行委員会までお問い合わせください。

- B. コーチは 20 才以上の成人であること。コーチは自チーム選手の行動に責任を持つこと。
- C. チームは、選手 2 名または 3 名と、コーチ 1 名であること。
- D. 一人の選手が複数のチームに参加はできません。
- E. 一人のコーチが複数のチームに参加できます。
- F. 一つのチームは、レギュラーカテゴリー・エキスパート競技、ベーシック競技、およびオープンカテゴリーのいずれかひとつにのみ参加できます（コーチは複数カテゴリー、競技に参加可）。
- G. 一つのチームは、いずれかの予選会に参加する必要があります。
- H. 一つのチームは、複数の予選会には参加できません。

上記の違反が判明した場合は、Japan 決勝大会、および国際大会に選抜されたとしても、その選抜を取り消します。また、予選会においても罰則が課せられることがあります。

(2) エキスパート競技とベーシック競技

ベーシック競技は初心者、初学者を対象としています。ベーシック競技参加した翌年以降はエキスパート競技へチャレンジしてください。上位入賞をするために、同じ参加者が何回もベーシック競技に参加するようなことはおやめください。

4. 予選会への参加

(1) レギュラーカテゴリー

予選会の競技内容は、WRO Japan の競技ルールに準じた内容、または同競技の技術要素を取り入れた競技内容として、独自に各予選会主催者において決定されていますので、必ずしも Japan 決勝大会と同じルールではありません。

(2) オープンカテゴリー

2014 年度は、予選会はありません。ビデオ審査を行います。

5. WRO Japan 決勝大会への選抜

(1) レギュラーカテゴリー

各予選会より選抜された参加チームにて、Japan 決勝大会を行います。

A. 各予選会からの選抜条件

各予選会にて優秀チームを選抜します。選抜されたチームは Japan 決勝大会に参加していただきます。なお、予選会からの優秀チームの選抜方法に関しては、各予選会主催者によって決定されます。

B. 各予選会からの選抜数

全予選会参加チーム数確定後に WRO Japan 実行委員会にて決定します。

(2) オープンカテゴリー

- ① Japan 決勝大会へはビデオ審査によって選抜されます。
- ② 選抜されたチームは Japan 決勝大会に参加していただきます。

6. WRO Japan 決勝大会

Japan 決勝大会競技ルールに関しては、[WRO Japan 公式サイト\(http://www.wroj.org/\)](http://www.wroj.org/)をご参照ください。

(1) チーム

- A. 予選会から選抜されたチームであること。
- B. 選手は予選会の参加選手と同じ選手であること。
ただし何らかの理由でメンバーが参加を辞退した場合、補欠を一人だけ認めます。
- C. コーチは予選会から変更されてもよい。

(2) レギュラーカテゴリー

○ エキスパート競技

- ・ 競技 : 自律型ロボットの走行競技
 - ・ プレゼン : ロボットの開発内容に関する事項、チームの活動内容に関する事項を記載したシートを提出、掲示。内容と発表を審査
- ① 参加チームは、競技とプレゼンの両方の参加が必須です。
 - ② プレゼンシートが提出されない、またはプレゼンシートの内容が著しく乏しく競技のみ参加と見られるチームは、プレゼン不参加となります。および競技はエキシビション（参考）扱いとなります。
 - ③ プレゼンシートを提出して競技に参加できない場合は、プレゼンはエキシビション（参考）扱いとなります。
 - ④ 競技の評価は、プレゼンの結果、表彰には影響を与えません。
 - ⑤ プレゼンの評価は、競技の結果、表彰には影響を与えません。

○ ベーシック競技

- ・ 競技 : 自律型ロボットの走行競技。競技のみとし、プレゼンはありません。

(3) オープンカテゴリー

会場ブース内に展示し、審判に向けてプレゼンテーション、質疑応答を行います。

(4) 表彰

レギュラーカテゴリー（競技、プレゼン）、オープンカテゴリーの各優秀チーム、および主催者が特に表彰に値すると認めたもの。

7. WRO 国際大会への選抜

(1) レギュラーカテゴリー

○ エキスパート競技

Japan 決勝大会の競技において、国際大会への選抜に値すると WRO Japan 実行委員会が認めるチーム。

○ ベーシック競技

国際大会への選抜はありません。

(2) オープンカテゴリー

Japan 決勝大会において、国際大会への選抜に値すると WRO Japan 実行委員会が認めるチーム。

(3) 繰り上げ参加について

国際大会選抜チームが不可避の理由で参加を辞退した場合、次点チームの WRO 国際大会参加を認める場合があります。当該チームへの WRO 国際大会への繰り上げ参加決定の連絡は、9 月末日までに実行委員会より行い、それ以降の繰り上げ参加はなしとします。

8. WRO 国際大会

Japan 決勝大会にて国際大会参加チームに選抜された場合、日本代表チームとして 2014 年 11 月開催の国際大会に参加していただきます。国際大会への参加ができないことがわかっている場合は、Japan 決勝大会にも参加できません。

(1) チーム

A. 選手は Japan 決勝大会への参加選手と同じ選手であること。

ただし何らかの理由でメンバーが参加を辞退した場合、補欠を一人だけ認めます。

B. コーチは Japan 決勝大会から変更されてもよい。

9. 参加費

(1) Japan 決勝大会

参加者 1 人あたり 2,000 円（コーチも含む）。

参加確定後、事務局指定口座へ振込となります（手数料は参加者にてご負担ください）。

参加確定後に参加を辞退されても、参加費は返却いたしません。

2014 年 8 月末日までに事務局指定口座に入金してください。

参加費の振込をもって Japan 決勝大会への参加登録完了となります。

※注：Japan 決勝大会参加のための旅費は参加チーム負担となります。

(2) 国際大会

開催国の取り決めによります。

（2013 年実績：1 万 5 千円。うち、JST 国際科学技術コンテスト支援事業より補助あり）

※注：国際大会への旅費は参加チーム負担となります。

10. 参加登録

(1) Japan 決勝大会参加チームは、予選会主催者を通して WRO Japan 実行委員会事務局より送られる指定の登録フォーマットに必要情報を入力してください。

(2) 参加チーム名、所属、参加カテゴリー、地域、選手名、コーチ名については、WRO Japan 公式データとして取扱い、公表するものとします。

(3) チーム名、所属

各掲載制限上、チーム名の文字数は事務局より制限させていただくことがあります。

チーム名は、公序良俗に反しないものとする。所属名は本来の所属名（学校名）としてください。

営利団体名、宣伝等を含む内容や特定商品名を入れる等は不可とします。

11. 連絡手段と内容

Japan 決勝大会参加チーム、国際大会参加チーム共に適用されます。

(1) 運営事務局と参加チームコーチとの連絡は、電子メールおよび電子メールアドレスを登録したメーリングリスト機能（全体 ML という）を利用いたします。参加チームのコーチは逐次確認できる電子メールアドレスを確保しておいてください。緊急の場合のみ電話を利用します。

なお、WRO Japan 2014 全体 ML には各チーム最大 2 つのメールアドレス登録とします。これは、チームあたり大量人数の登録管理は事務局負担大であること、および登録者のアドレス変更発生時に

配信エラーが発生し、その対処に事務局およびサーバ管理にて苦慮することからです。また、上記連絡用の電子メールアドレスには携帯電話を受信機としたものは登録しないでください。添付ファイルによるやりとりには不自由があることと、配信エラーが多くなるのが理由です。

- (2) 準備段階、競技当日における参加チームへの各種伝達事項は適宜、事務局から発信されますので、それに従ってください。注意点や期日等については特に遵守してください。
- (3) Japan 決勝大会競技内容、運営への問い合わせは、予選会主催者を通じて行ってください。参加チームからの直接の問い合わせにはお答えできません。

1.2. 個人情報の取り扱い

参加およびアンケート等により収集した個人情報は、主催者である NPO 法人 WRO Japan が管理し、WRO および WRO Japan がより一層参加者の皆様のご期待に添うための資料として、情報提供サービス/輸送・配送サービスに活用させていただくことがあります。また、収集した個人情報を第三者機関に提供することはありません。ただし、WRO Japan 決勝大会、国際大会の会場および関連行事において、お名刺のご提供もしくはそれに準ずる情報のご提供をいただいた場合には、その提供先各社・団体に対する情報のご提供のご許可をいただいたものと判断させていただきます。

1.3. 著作権および肖像権

- (1) 大会当日の参加チームの作成物につきましては、全て主催者、共催者が参加チームと著作権を共有することとします。参加チームが提出したプレゼンシート、ポスター類は、各会場にて掲示されるものとし、さらに翌年以降の参加チームへの参考情報として開示、配布できるものとします。また、主催者、共催者および協力団体などが学会、書籍、Web、セミナーなどで参加者の著作物を引用する場合があります。
- (2) 大会当日、各チームが活動している様子を、ビデオやカメラで撮影させていただきます。これら当日に撮影した写真、画像、ビデオ類は、主催者、共催者や大会スポンサーおよび協力者、各種メディアにおいてホームページや記事、広告などの広報用、または参加チームの技術向上のために使用する場合があります。当日作成いただくロボットやプログラムにつきましても同様とお考え下さい。広報を行う場合には、参加チーム名、所属、参加カテゴリ、地域までとし、以外の選手名、コーチ名、住所、電話番号等の情報については一切公開せず情報の漏洩のないように配慮いたします。ただし、選手名、コーチ名については、個別に確認、了承されたものについてはこの限りではありません。

14. 大会休止

- (1) WRO Japan はスポンサーおよび協力各団体からのご提供資金ならびにご支援、および実行委員や協力関係者の献身的なボランティア・ベースの活動により開催・運営されています。どちらが欠けても開催・運営をすることは困難です。いずれか一方でも不足した場合は、大会を縮小、休止することがあります。
- (2) 大会運営にあたって予期せぬ大きな問題、解決できない大きな問題が発生した場合、大会を縮小、休止することがあります。

15. 相互協力、相互敬意の言動を

参加者は同じテーマに挑戦する仲間であるとはいえ、運営するみなさん、協力していただくみなさんとともに WRO をつくりあげていく仲間でもあります。参加にあたっては、相互理解の上でお互いに敬意を持って活動してください。

敬意を持たない言動には注意がなされ、そうした言動が続くような場合には大会、関係行事への参加を禁止する場合があります。

以上